

【ごみ処理量】 単位:(t)

種類	燃やせるごみ
処理量	3,196.01

【燃焼ガス温度及び一酸化炭素濃度】 結果の得られた日 5月1日

項目	燃焼室ガス温度()	集じん器入口温度()	一酸化炭素濃度(ppm)
1号炉	912	164	2
2号炉	912	164	3

自動分析計で連続的に測定した値の月平均値を算出しています。

測定箇所は、燃焼室ガス温度は燃焼室出口、集じん器入口温度は集じん器入口、一酸化炭素濃度は煙道での測定になります。(排ガス中の一酸化炭素濃度は、100ppm以下にしています。)

燃焼温度を800度以上の高温にして完全燃焼させ、ダイオキシン類の発生を防止しています。また排ガスは、概ね200度以下にし、ダイオキシン類の再合成を防止しています。

【ばいじんの除去】

冷却設備及び排ガス処理設備にたい積したばいじんは炉運転中自動で常時引抜き除去を行っています。

【ばい煙濃度】

項目	試料採取日		結果の得られた日	
	窒素酸化物濃度(ppm)	硫黄酸化物濃度(ppm)	塩化水素濃度(mg/m3)	ばいじん量(g/m3)
規制基準(大気汚染防止法)	250	3,063	700	0.08
自主規制値	100	50	約80	0.01
1号炉	-	-	-	-
2号炉	-	-	-	-

窒素酸化物濃度、塩化水素濃度、ばいじん量は、酸素濃度12%換算による補正濃度です。

6月に1回、炉ごとにばい煙濃度を測定しています。

試料は煙道から採取しています。